

箕輪町

農業委員会だより

トップ面に登場した挑戦者たち

今期 2021年7月号(第7号)から
2024年1月号(第17号)まで

第7号

箕輪町 農業委員会だより



第11号
2022年7月

箕輪町 農業委員会だより第15号
2023年7月

箕輪町 農業委員会だより



第8号

箕輪町 農業委員会だより



第12号
2022年9月

箕輪町 農業委員会だより

第16号

箕輪町 農業委員会だより



第9号

箕輪町 農業委員会だより



第13号
2023年1月

箕輪町 農業委員会だより



第17号
2024年1

箕輪町 農業委員会だより



第10号
2022年3月

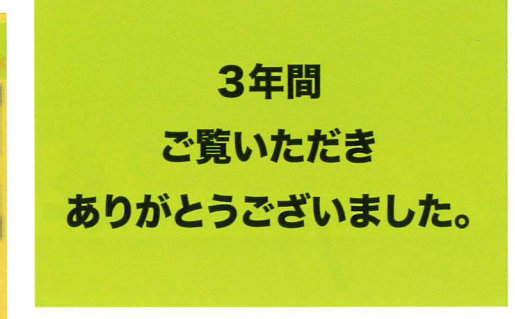
箕輪町 農業委員会だより



第14号
2023年3月

箕輪町 農業委員会だより







農業委員会の業務を紹介します。



定例総会



県農業委員会総会



県農村女性フェスティバル

農業委員会

- 定例総会(毎月)
- 農業振興農用地個別除外案件の意見聴取(年2回)
- 農地転用案件の現地確認(毎月)
- 農地相談会(奇数月)
- 町内一斉農地パトロール(8月)
- 農家の農地意向調査(12月)
- 町農業施策に対する意見書の提出(任期中1回)
- 地域計画・目標地図の策定
- 荒廃農地・耕作放棄地・遊休農地の発生防止・解消
- 農地・農政・農業に関する農家・法人への対応
- 農地の現地調査
- 営農組合活動への参加・協力
- 農業行事への参加・協力
- 諸組織への参加・協力
- 新規就農希望者・法人への対応
- 農業関連施設・組織の視察・研修(年2回)
- 農地・農政関連法制度の勉強会・研修
- 農業委員会だよりの発行(年4回)

町

- 農業再生協議会



地域活動 小学校5年生の稲作体験



地域活動 玉ねぎ収穫作業(富田)





農地パトロール



地域活動 高校生との荒廃地解消作業



地域活動 営農組合での作業

- 営農支援センター運営委員会
- 他団体(みのわ営農、議会、JAなど)との懇談会
- 男女共同参画推進協議会
- 都市計画審議会
- 環境審議会特別委員会

郡・県・全国

- 上伊那ファーマーズのつどい
- 農業功績者・農業名人選考・認定委員会
- 3町村(辰野町、南箕輪村、箕輪町)交流会
- 女性農業委員会活動推進シンポジウム
- 女性農業委員会農業者年金セミナー
- 農業者年金加入推進活動
- 農業新聞購読推進活動
- 農業振興農用地個別除外協議会
- 農地売買あっせん会議
- 農業委員会協議会
- 女性農業委員協議会
- 農業会議



目標地図原案作成



女性農業委員レモン料理講習会



県内外の企業や農家での研修

ご購入ありがとうございました！

まずはこの場をお借りして、能登半島地震という大災害で亡くなられた方へのお悔やみと被害に遭われた方へのお見舞いを申し上げます。平穏な生活のありがたみを痛感する日々が続いております。

さて、今期の箕輪町農業委員会は、コロナ禍で社会が大混乱する2021年4月に前期委員会を引き継いで業務を開始しました。来たる3月末日で3年の任期を終え、4月1日、次なる新しい委員会にバトンタッチをさせていただきます。この3年間、農家や農業関係者はもとより、多くの町民の皆さま、法人さまに、農業委員会の業務や活動に対しまして多大なご理解とご協力をいただきましたこと、農業委員会委員一同、感謝の気持ちで一杯です。お礼申し上げます。誠にありがとうございました。

厄介なコロナ禍は、昨年の5類移行政策で落ち着きましたが、海外での戦争勃発や世界規模での異常気象によって国内の社会、経済は大きく揺さぶられており、農業従事者の減少と高齢化、物価高騰なども相まって、農業経営はかつてない厳しい局面にさらされています。しかし町内では、有利な立地条件を生かした酪農、水稲、果樹、野菜、花卉などの農業が依然として活発に営まれていて、その中心的な担い手でおられる大規模農家や農業法人の皆さまには、改めて心より敬意を表します。

重大かつ喫緊の課題だらけの農業に危機感をもつ国は、みどりの食料システム戦略を表明し、食料の安全保障、食料自給率の向上、輸出の拡大、スマート農業の導入、農業とゼロカーボン社会との調和などを見据えつつ、食料、農業、農村基本法の四半世紀ぶりの改正をはじめとした、新しい施策や法令制度の改正を矢継ぎ早に打ち出してきています。

農業委員会も、農地利用最適化という名のもとに、遊休農地の発生防止と解消、農業の担い手への農地の集積と集約、新規就農者の確保など、業務のさらなる拡大が求められるようになってきており、室内の会議よりも現場での活動が多くなってきています。「10年後、どの農地を誰がどのように使うかの目標地図を描きなさい」という農業版地域計画の策定指示もその1つで、農家だけではなく、地域の人たちが、危機意識を共有し、改善策の知恵を出し合うことが不可欠な、大きな課題を突き付けられたと考えております。

農業委員会は、農業委員会法および農業委員会規則を遵守し、農業委員会憲章の理念を旨として、農地法、農業経営基盤強化促進法、農業振興地域整備法などの農業関連諸法令に則った農地行政の一翼を担う執行機関であります。これからも引き続き、町の基幹産業の1つである農業が魅力ある産業として維持、発展を遂げていくことができるよう、農業者、就農希望者、後継者にとって希望あふれる農業になるよう、次世代に優良農地を承継できるよう、微力ながらお手伝いしていくのみです。

「農業委員会だより」の創刊から約4年、途中、県および国の表彰を受けたこともあり、町からの支援をいただき、ここまで町民のすべての皆さまのお手元にお届けしてまいりました。カラー写真の多用、少ない文字数編集モットーとしてきました。計18号、取材を受け入れていただいた皆さま、原稿執筆者、誌面デザイナーをそして内祝いとなつてはしましますが編集委員会のメンバー、皆さまに心より感謝申し上げます。

4月からは別の媒体、形式での公開となる予定です。少々寂しい気持ちもありますが、箕輪町農業委員会の発信力を駆使した情報提供の継続を次期農業委員会に託しますので、その節は、引き続きのご購読、ご閲覧のほど宜しくお願い申し上げます。

箕輪町農業委員会 会長 鈴木健二

箕輪町農業委員会の各地区担当委員（任期：2024年3月まで）

唐澤 金実	沢上北部1組	79-5668	唐澤 俊秀	中原2組	79-5783	藤森 英雄	木下南城	79-4596	井口 雅文	福与卯の木	79-3801
大槻 憲治	沢15組	79-6116	春日 初(会長代理)	松島西小路	79-4370	小松 孝寿	木下南原	79-5219	金澤 博(農地部長)	長岡大門	79-5428
藤田 久一	大出4組	79-5525	唐澤 健二	松島春日町	79-6467	櫻井 克成	木下一の宮2	70-8536	上田 千志	南小河内 北部	79-5711
関 幹子(農政部長)	八乙女1組	79-3894	小野健一朗	松島南町3	79-0530	赤沼 好秋	富田 2組	79-5861	鈴木 健二(会長)	北小河内 中村	70-6212
小林 正俊	下古田1組	79-3312	倉田 孝子	木下 上一東	79-5172	唐澤 由寛	中曽根 1組	79-5010			
唐澤 稔	上古田3組	79-4027	原 美鈴	木下南部	79-3138	藤澤 昭二	三日町上棚	79-4959			

JA上伊那北部営農センター
農事組合法人みのわ営農 → 79-0636

地区営農組合（5地区）：連絡先は上記の農業委員会の各地区担当委員におたずねください

北部（沢/大出/八乙女/下古田）、中部（上古田/中原/松島）、南部（木下/富田/中曽根）、箕輪（三日町/福与）、東箕輪（長岡/南・北小河内）

箕輪町農業委員会だより 第18号 発行 2024年3月1日 農業委員会事務局（役場 みどりの戦略課内）0265-79-3170

編集後記 編集委員からの一言を載せました。

「一生懸命」と「一所懸命」どちらも命がけで守るという意味があります。町内の農地も年々減少や荒廃地化するのを見るにつけ残念に思えます。ただ、取材を通して「農業 Hope 誕生」「農業極め人」「若者 NOW」「挑戦」「目からうろこ」「営農組合活動」に登場していただいた個人、団体の人が多くいるのも確かです。箕輪に農業の応援団がいっぱいいることも実感しました。

藤澤 昭二

多くの方々に取材に伺い、お話をさせていただきました。町内のはじめの場所に行くことができ、町の魅力を再発見するすばらしい機会をいただきました。幸福な時がありました。ありがとうございました。

関 幹子

名人を始め、県外からこの箕輪を選んで農業を始めた若手の方、親御さんの背中を見て農業を継ぐ方など、たくさんの農業に携わる方と出会えました。私の何よりの宝です！これからも箕輪の農家さんたちが輝き続けますように！

原 美鈴

この編集に関わりそれぞれの分野での知識と情報を集められる方々に助けられてやってこれました。また農業以外の町内の地域の伝統も知ることもでき、「いつも楽しんで読んでいます」という声をいただき感謝の気持ちで終えることができました。これからも読者にさまざまなことを届けられることを願っています。

倉田 孝子

農地集約の際にお世話になったときは手続きぐらいにしか考えていませんでしたが、自分が委員になると町全体の農地保全や今後の食料生産のための農地集約、農業生産による環境保全の大切さなど考えさせられる日々が続いています。

唐澤 金実

藤澤委員長のもと、農業や食に関し、この「農業委員会だより」で多くのことを学習することができました。食に感謝する気持ちを忘れずに今後も取り組んでいきたいと思っています。

小松 孝寿